

文字の色について

赤文字：単語の意味の説明

青文字：児童に促したいポイント(児童への支援の視点や発展的な内容)

緑文字：ミニ知識(補足)

【地域防災拠点の説明】

「地域防災拠点」という名称は、災害対策基本法が改正される以前から避難生活を送る場所として広く周知している。

横浜では、上記のように指定避難所を指定はするものの、「地域防災拠点」という名称を今後も継続して使用していく。

※参照：横浜市「地域防災拠点 地域防災拠点(指定避難所)とは」

【津波注意報の説明】

予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。

(取るべき行動)

海の中では人は速い流れに巻き込まれる。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。

【津波警報の説明】

予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。

(取るべき行動)

標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。

ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。

※参照：気象庁「津波警報・注意報、津波情報、津波予報について」

## 地震が起きたときの避難場所を確かめよう!

家族や友だちと話し合ってみよう

### ワークシート

あらかじめ家族と話し合っておく

#### 自分の家

家に大人がいないときは、家族や近所の人に無事であることを伝えよう!

#### 公園などの広くて安全な場所

#### 地域防災拠点(小・中学校など)

・家が壊れて生活できない人が避難する場所だよ!  
・みんなが避難してしまうと入らぬ場所!

#### 津波注意報・警報が出たら?

海や川からすぐはなれよう

少しでも高い場所へ、避難しよう

#### ココが大切!

● 家族に自分の無事を伝えよう

携帯電話を持っていれば「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板 web171」が使えるよ!

#### いざというとき持ち出すものリスト

<input type="checkbox"/> たべもの(かんづめ、乾パンなど)	<input type="checkbox"/> 貴重品(サイフなど)	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> 飲み水	<input type="checkbox"/> 薬手紙	<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> フライヤー・あうそく	<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> 携帯電話・モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> 懐中電灯・ランタン	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> ( )

ほかにも必要なものがないか、確かめてみよう。

#### ワークシート

● 自分が行く地域防災拠点(小・中学校など)を調べよう!

● 家が一番安全な場合は、必ずしも外へ避難する必要はないよ!

● 大きな地震が起きたときに、家族が集まる場所はどこ?

● 家の中で危険な場所と安全な場所はどこかな?

● 外で安全に避難するために気をつけることはなにかな?

● いざというとき持ち出すものリスト

【津波のミニ知識】

津波はジェット機などの速さでおよせてくる。海上の場合、深さによって下記のような例えが出来る。乗り物に例えてみると、いかに津波の威力が凄まじいかわかがい知ることが出来る。

深さ5,000m=ジェット機と同じくらいのスピード

深さ500m=新幹線と同じくらいのスピード

深さ50m=自動車と同じくらいのスピード

津波注意報が発令された際、速やかに避難することが重要。津波が到達してしまうと、ひざ程度の高さでも立ってられない。

《具体例》2011年3月11日に発生した東日本大震災では、津波注意報が発令されたものの、実際に津波からの避難を想定している方は多くなかった。津波は、地震発生から数分後に発生し、多くの人々が逃げ遅れ被害に遭われた。

※参照：三重県教育委員会「防災ノート」

【児童考察】

定期的に家族で防災について話すことで、災害に対する危機意識を風化させないことが目的。常に災害に気を張っていることは難しいが、毎年必ず災害に向き合う時間を作ることで、少しでも災害に備えられるようにする。

